

事務事業 No./名称	■サービス部門 市民-04 技能振興事業					タイムスコード及び個別事業名	
	□支援部門					615	技能振興事業
主管課	市民活動課		関連課				
分野名	勤労者福祉						
目標 (目標値)	技能者表彰や技能職団体への助成を通して技能振興、技能者の労働・生活環境の向上を図る。						
人口等の データ	データ区分	21年度	20年度	備考			
	人口	176,669人	176,484人	・各年4月1日 (住民基本台帳)			
	世帯数	78,131世帯	77,430世帯				
運営資源 状況	決算値	843千円	844千円				
	(国・県)						指標と評価
	(負担金等)						
	(一般財源)	843千円	844千円				指標
	人員配置数	0.7人	0.9人				技能者表彰者数
	人件費	6,228千円	8,034千円				評価
	協働の パートナー						×
事務事業 運営経費	総事業費	7,071千円	8,878千円				◎目標を達成 ○目標に向かって前進 △横ばい ×後退
	市民1人当 りの経費	40円	50円				目標値
	対象者1人 当りの経費						実績値
ベンチマーク (県内外自治 体や民間団 体との比較 値)	団体名	鎌倉市	川崎市	横浜市	藤沢市	厚木市	20年度
	技連協組合数	47組合	66組合	46組合	37組合	25組合	21年度
	技連協組合員数	1,444人	20,000人	51,732人	1,330人	556人	22年度
	市補助金額	340千円	3,200千円	2,540千円	435千円	200千円	23年度
創意・工夫・ 課題等改善 状況	課題・問題 点	(21年度事務事業を実施するうえでの課題・問題点は、どのようなことでしたか) ・若年技能者の減少による技能の後継者不足が生じている。					最終年度 (年度)
	創意・工夫・ 課題等 の改善点 21年度の 成果	(課題・問題点についてどのような創意工夫、改善をしましたか。また、どのような成果がありましたか) ・鎌倉市の技能を中心的に支える鎌倉市技能職団体連絡協議会を紹介するページを市ホームページ内に作成し、市民に技能の周知を図り身近な技能者を活用しやすい環境を整備した。					
	未解決の課 題・問題点	(21年度事務事業の取組において対応(解決)できなかったものはどのようなことですか) ・若年技能者の減少による後継者不足から、技能功労表彰における青年表彰の部において該当者がいないという事態となった。					
	今後の方針 (対応・改 善)	(上記対応できなかった課題・問題点について今後どのように対応(改善)していきますか) ・技能者表彰や技能祭をより市民に身近なイベントとなるよう開催方法や内容に工夫を加えていくことにより、広く市民や子どもたちの関心を引き起こし市内での技能振興を図っていく。					
一次評価(課長評価)				二次評価(部長評価)			
A:充実又は拡大 B:現状のまま継続 C:統合又は縮小 D:廃止又は休止 E:事業完了							
評価結果	改善の必要性	次世代を担う子どもたちに技能に親しんでもらう機会を作り、長期的な技能振興を図る。そのため、技能職団体連絡協議会との協力・連携を一層強めていく。			評価結果	改善の必要性	単年度の事業がすぐに成果に結びつく事業ではないが、幅広い世代への継続的な技能の周知を図り、鎌倉の技能を今後に伝えていく。
B	有				B	有	
課長名		三上 周二			部名・部長名		市民経済部・小磯 一彦